

## 研修会報告

2021年3月9日

文責：宮坂智充

研修会テーマ「COVID-19における血液検査値異常を学ぶ」

開催日時 2021年2月26日（金） 18：00～20：00

会場 Web研修会

司会 仙台医療センター 伊東貴美、東北医科薬科大学 宮坂智充

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者会員：69名（講師、司会、実務委員を含む）非会員：1名（講師）

18：00～18：15 はじめに

東北医科薬科大学薬学部 宮坂智充

18：15～19：00 講演 1 「血液凝固検査の注意点とCOVID-19」

東北医科薬科大学病院 検査部 大場祐輔 技師

19：00～20：00 講演 2 「COVID-19～体の中でなにが起きているのか～」

東北大学大学院医学系研究科 総合感染症学分野 青柳哲史 先生

20：00 終了

### 内容

COVID-19 は多臓器疾患であり、急性肺障害以外にも心血管障害や肝障害、腎障害などを引き起こし、各種の臨床検査値に異常をきたす疾患であることから、感染対策、遺伝子検査や抗原検査を行っている会員ならびに血液検査を担当されてる会員を対象として、「COVID-19における血液検査値異常を学ぶ」と題した研修会を開催した。東北医科薬科大学病院検査部大場祐輔先生より、血液検査の注意点として特に採血量や抗凝固剤の量と検査値、採血順について日常検査における注意点が紹介された。加えて COVID-19 における凝固線溶異常について情報提供があった。続いて、東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野青柳哲史先生より「COVID-19～体の中でなにが起きているのか～」と題して、SARS-CoV2 の最新の感染状況、感染対策に対する情報提供とともに、感染病態とウイルス量の推移、COVID-19 における検査値異常、重症化メカニズム、重症化を予測する検査値などについて講演を賜った。私たちは COVID-19 において抗原抗体検査や PCR 検査を行うだけではなく、病態の把握や重症化予測に繋がる血液検査値異常をいち早く臨床側に提供することが必要である。これらの点において、本研修会では微生物検査や血液検査を担当する会員の日常業務の質の向上に資する最新情報を提供できた。